

占冠の新しい顔ぶれ

転入異動

教職員人事

占冠中央小学校



教頭
喜多 康洋
(東川町立東川小学校)



教諭
井上 裕太
(旭川市立永山南小学校)



教諭
古屋敷あかね
(旭川市立愛宕小学校)



事務職員
蓮井 寛
(占冠村立卜マム小学校)
再任用



教諭
大坂 典久
(期限付)

トマム小学校



教頭
加藤 信彦
(占冠村立卜マム中学校)



事務職員
法島 賢哉
(新採用)



教諭
小林 健太
(期限付)

占冠中学校



養護教諭
大沼 峰子
(富良野市立樹海中学校)



教諭
本多 沙知
(稚内市立稚内中学校)



教諭
山田 将平
(旭川市立松岡中学校)



教諭
新出 祐希穂
(期限付)

トマム中学校



校長
牧野 博巳
(南富良野町立南富良野小学校)



教頭
金山 達也
(東川町立東川中学校)



教諭
藤田 久美子
(旭川市立愛宕中学校)

※()内は前任校。敬称略。

占冠村職員人事



職員
鈴木 隼
(保健福祉課 社会福祉担当 兼保健予防担当 兼トマム・占冠歯科診療所担当)



職員
坂本 夢乃
(産業建設課 環境衛生担当 兼土木下水道担当)



職員
佐々木 勇人
(産業建設課 農業担当)

◇教諭 岸本 将裕
(上富良野町立上富良野小学校)

◇事務主任 原田 和茂
(幌加内町立幌加内中学校)

トマム小学校

◇教頭 長岡 勇樹
(中富良野町立本幸小学校)

占冠中学校

◇教諭 石川 弘志
(退職)

◇教諭 松本美智子
(退職)

◇養護教諭 田中 亜矢
(南富良野町立金山小学校)

◇教諭 今西 将悟
(枝幸町立枝幸中学校)

◇教諭 牧野 巧
(退職)

トマム中学校

◇校長 岩田 秀敏
(旭川市立共栄小学校)

◇教諭 中瀬 諭一
(旭川市立東鷹栖中学校)

◇教諭 登 和哉
(本別町立勇足中学校)

転出退職 教職員人事

占冠中央小学校

◇教頭 布施 司
(美瑛町立美瑛小学校)

◇教諭 林 真人
(剣淵町立剣淵小学校)

※()内は後任校。敬称略。

診療体制（担当医師）の変更について

平成27年度より次のとおり診療体制（担当医師）が変更されましたので、お知らせします。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
診療所名	トママ診療所	占冠診療所	トママ診療所	占冠診療所	占冠診療所
担当医師	山口医師	山口医師	竹内医師	山口医師	山口医師

診療日及び診療時間（9時から12時、13時30分から17時）に変更はありません。

＜竹内医師の紹介＞

1年間よろしく申し上げます

新しく担当される医師は、社会医療法人孝仁会 札幌第一病院所属の竹内實（たけうちみのる）医師です。内科を専門とするベテラン医師で、村は孝仁会及び竹内医師と1年間の出向契約を締結しています。

トママ診療所の水曜日診療を基本として、占冠診療所でも1か月に2日程度診療していただきます。

毎月発行する診療カレンダーにて担当医師をお知らせしますので、ご確認ください。



富良野警察署 占冠駐在所の人事

占冠駐在所長 八木 和彰



よろしく
申し上げます

前任地 警察本部自動車警ら隊
出身地 士幌町
趣味 スポーツ、動画鑑賞
抱負 村民の方が安心して暮らせるよう犯罪や事故を1件でも減らす努力をすること。
警察と村民の方と常に良好な関係を保てること。

平成26年度 鵡川水系 水質調査結果

鵡川水系の河川環境を守るため、村では水質調査を行い、河川の状況把握に努めています。
平成26年度の調査結果をお知らせいたします。

❖BOD（生物化学的酸素要求量）とは？
河川の有機物（汚染物質）による汚濁状況を示す指標のことです。
BODは、水中の有機物が微生物の働きによって分解される時に消費される酸素量を1リットルあたりのmg数で表します。つまり、水中の生物によって代謝されやすい有機物がどれくらい含まれているかを示す値のことです。
例えば値が1mg/lとは、水1リットル中に含まれている汚いものを、きれいにするために必要な酸素量（エネルギー）のことで、水中が汚れるほど微生物は水をきれいにしようと頑張るので、その酸素が必要（値が高くなる）ということになります。

このBODが高くなると、それだけ水中に含まれる酸素量が少なくなる傾向があるので、酸素を必要とする魚などの水中生物たちが死ぬこととなります。そしてメタンガスや硫化水素ガスなどが発生し、死の川になる危険性もあります。
私たちの毎日の暮らしに多くの恵みをもたらすこの美しい鵡川の流れを守っていくのは、源流に住む私たちに課せられた重要な責任です。
鵡川のきれいな水質を維持していくためにも、河川環境の保全にご協力ください。

❖未来に、きれいな
河川を残そう

平成26年度BOD調査結果

mg/L

	カリフリ川	青巖峡下流	基準値
平成26年5月	<0.5	<0.5	≦1
平成26年9月	<0.5	<0.5	≦1
平成27年2月	<0.5	<0.5	≦1

※いずれも0.5以下で基準値1を下回っています。